八丈島水産だより

４月号

2025年

サブ会場の大越園地休憩舎

八形山のフリージア畑

令和７年３月２２日（土）～４月６日（日）にかけて、八丈島の春の祭典「第５９回八丈島フリージアまつり」が開催されています。今年の３月は肌寒い日が多く、フリージアの開花が例年より遅かったため、最終日まで美しい景色を楽しめそうです。

カラフルなフリージアですが、甘い香りを漂わせるのは黄色のみで、他の色はほとんど香りがしない、と言われています。色味を楽しむとともに、香りの違いを比べてみるのも面白いかもしれません。

■ 最近の漁模様

八丈島に春を告げる魚であるハマトビウオ（通称:ハルトビ）の漁が始まりました。島寿司の材料にも人気ですが、近年漁獲量が減少しており、資源管理による資源回復のための取組みを行う予定です。

漁獲が比較的好調な魚は、キンメダイとキハダです。この二つは資源管理を始めて５年以上が経ち、ここ数年は漁獲が安定しています。

ハマトビウオも、資源管理の成果が出て漁獲量が安定する日が数年後に来るかもしれませんね。

写真上：ハマトビウオ　下：キンメダイ

■令和6年クロマグロ漁終了。令和7年漁獲に期待！

令和６年のクロマグロ漁が終了しました。全部で21.3トンの漁獲があり、地区ごとに割当てられた今年の漁獲可能量（大型魚：21.8トン）の98%を消化しました！

割当の8割以上を消化した都道府県には、次の漁期に国が少し多く配分してくれる「消化率メリット」という制度があり、今年の消化率によって令和8年にメリットを受けられる予定です。今後の消化率にも注目してみましょう。

東京都八丈支庁産業課　TEL：04996-2-1113
HP：http://www.soumu.metro.tokyo.jp/09hatijou/
東京都八丈支庁Instagram：https://instagram.com/hachijoshicho/